

ボランティア活動報告 2016

『市民交流サロン カラオケ・演芸大会 8月&10月』

日時 【2回目】2016年8月19日(金)

【3回目】2016年10月8日(土)

場所:尚綱学院大学 多目的ホール

尚綱学院大学を会場に開催している、「カラオケ・演芸大会」の2回目が8月19日に、3回目が10月8日に行われました。仮設住宅等で生活される住民の皆さんが参加し、歌や踊り、そして交流を楽しみました。ステージに立つ方はもちろん、応援にかけつけた皆さんも笑顔があふれ、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。

このカラオケ・演芸大会の上位2名は、11月13日(日)に行われる復興音楽祭にも出演しますので、ぜひ会場での美声をお聞きください！



2回目の大会では17名の皆さまがカラオケを、1団体がレクダンスを披露。3回目の大会では19名の皆さまがカラオケで素敵な歌声を、さらにレクダンスとフラダンスのグループがパフォーマンスを披露しました。また特別ゲスト「名取シニア劇団 あっぺとっぺ」の皆さまによるお芝居がありました。応援団を合わせると、毎回80名近くの皆さんが集まり、楽しい時間を過ごしました。



尚綱学院大学ボランティアチーム TASKI は、大会の会場準備や司会、運営全般をしながら、住民の皆さんとの交流のひと時を一緒に楽しみました。夏休み期間中だった8月の大会では、小学生や高校生、他大学の学生も駆けつけ、ボランティア活動に参加しました。さらに、参加者の皆さまと同じようにステージに立ち、ダンスや歌で会場を盛り上げました。

【2回目のカラオケ大会に参加した高校生ボランティアの感想】

私は、今回初めて「市民交流サロン カラオケ演芸大会」に参加しました。仮設住宅の方とお弁当を食べながら、お話をした中で印象に残っている言葉があります。それは、「今日はD君いないの？」という言葉です(※D君: TASKI ボランティアメンバー)

この日は、いつも様々なボランティア活動の中でダンスをし、盛り上げているDさんがいなかったのですが、さみしがっている方たちを見て、正直私は「羨ましい」と感じ、そのような存在になりたいと、強く思っていました。

そして、Dさんが好かれているのは、ダンスでみなさんを楽しませているからだけではなく、ボランティア活動を続け、仮設住宅の方と笑顔でたくさん交流をし続けたからだと思います。私もこれから、同じように住民さんとの交流を続け、様々なことに挑戦していきたいです。この目標を立てるきっかけをくれた、この活動にとっても感謝しています。(Y.S)

フотスナッフ① [2回目 8月実施]



カラオケを歌う方はもちろん、応援に来た皆さんも大盛り上がり！応援グッズを持参したり、同じ仮設住宅のメンバーが表彰されると自分のように大喜びする姿も見られました。TASKIのメンバーや一般参加の小学生・高校生のボランティアも歌に踊りに大活躍！温かい空気に包まれた大会になりました。



フォトスナップ② (3回目 10月実施)



11月の復興音楽祭の出場権を得る最後のチャンスとなる第3回の大会は、参加者も多く、非常にレベルの高い大会に！白熱した大会がひと段落してからは、希望者が飛び入りでカラオケを披露する時間もあり、さらに盛り上がりを見せました。回を重ねる度に、応援のレベルもあがっていることもあり、今回は、応援賞も設けられました。受賞された皆さん、おめでとうございます！！

